

● 市債の状況 ●

現在高	100億7,772万円 (一般会計)
市民1人当たり	485,463円

※市債とは、多額の資金を必要とする事業を行うときに借り入れる資金のことです。なお、返済の財源として将来的に69億円程度、普通交付税が交付される見込みです。

● 基金の状況 ●

財政調整基金	12億 714万円
減債基金	13億3,764万円
その他特定目的基金	50億1,146万円
合計	75億5,624万円

※鉱害復旧施設基金の繰替え運用分は含まれていません。

● 市民の負担と経費の状況 ●

区分	みなさんが負担したお金	みなさんのために使われたお金
1人当たり	87,595円	536,555円
1世帯当たり	232,204円	1,422,339円

※上記金額は決算内容を平成26年3月31日の人口20,759人、世帯数7,831世帯で除した金額です。

● 市有財産の状況 ●

土地 12,172,458㎡	建物 121,498㎡
立木 139,607㎡	基金 75億5,624万円

## 特別会計

特別会計とは地方公共団体が特定目的の事業を行う場合に特定の歳入を特定の歳出にあて、一般会計と区分して経理しているものです。平成25年度は、住宅団地を造成する目的で新たに宅地造成事業特別会計を設置しました。

会計名	歳入	歳出	差引額
土地区画整理	5億417万円	5億217万円	200万円
公共下水道	9億3,250万円	9億2,585万円	665万円
農業集落排水	7,800万円	7,800万円	0円
宅地造成	1億3,386万円	1億3,386万円	0円
国民健康保険	29億763万円	29億343万円	420万円
後期高齢医療	2億3,643万円	2億3,594万円	49万円

## 公営企業会計

### = 水道事業会計 =

平成25年度は、平均9.89%の水道料金の値下げを行い収益は減となりましたが、佐賀西部広域水道企業団からの受水単価の減額や企業債利息の減少などで経費が抑えられたため、収益的収支は1,548万円の利益が生じました。また、新井上配水池および東多久町未整備地区配水管の整備事業等により資本的支出が増となりました。



収益的	収入	5億2,934万円
	支出	5億1,386万円
資本的	収入	2億2,549万円
	支出	3億5,827万円

### = 病院事業会計 =

平成25年度は、外来および入院患者数の減により医業収益は減となりましたが、材料費等の減により医業費用も減となり収益的収支は4,661万円の純利益が生じました。また、電子内視鏡システムの更新を行いました。また、資本的収入および支出ともに減少しました。



収益的	収入	15億2,336万円
	支出	14億7,675万円
資本的	収入	535万円
	支出	863万円